

令和3年度 学校経営方針

亀岡市立別院中学校

1 経営方針

- (1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことをめざし、創意工夫を凝らした教育の実現に努める。
- (2) 目標達成型の学校経営（学びのマニフェスト）の実践により、地域と共に歩む特色ある学校・信頼される学校づくりに努める。

2 学校教育目標

自他の良さや違いに気づき認め合い 未来を展望し 何事にも挑戦し続ける生徒の育成

3 学校目標を達成するための重点

別院中学校ブロックとして、地域連携型小中一貫教育を推進するために以下の重点を設定する。

- ① あらゆる教育活動において、生徒全員に対して人権尊重を大切にした積極的な生徒指導を展開し、自己肯定感を高め、自己決定・自己有用感・共感的人間関係の3つの機能を活かす。
【人権・積極的な生徒指導】
- ② 生徒理解の深化に精力を注ぎ、教職員ひとりひとりがチームの一員として生徒の良さを引き出すために日常的に交流し、分析力向上に努める。
【生徒理解】
- ③ 別院ブロックとして小中学校の教職員が、指導法の改善に向けた研究活動を通して、児童・生徒の的確な学力実態の把握及び学力の充実向上のため基礎・基本の徹底を図り、進路実現に繋げる。
【進路・学習】
- ④ 自他の生命を尊重し、知・徳・体のバランスの取れた、心身ともに健康で安全な生活を営むための判断力や実践力（コミュニケーション力含む）の育成に努める。
【道徳・健康安全】
- ⑤ ふるさとに学ぶ総合的な学習（農園活動）の時間や地域の人々とのふれ合いを大切にした特色ある体験活動や取組等創意工夫のある教育課程を編成して、家庭や地域から信頼される学校づくりを推進する。
【ふるさと学習・地域連携】

4 めざす生徒像

- ◆ 人を思いやり、心豊かな生徒
- ◆ 自ら考え、コミュニケーション能力の高い生徒
- ◆ 心身ともにたくましく、向上心をもって学校生活を送ることのできる生徒

5 研究主題

■へき地・小規模校教育

平成31年度京都府へき地・小規模校教育研究会研究主題

ふるさとで心豊かに学び、確かな学力・表現力を基盤に、未来の創り手となる子どもの育成 ～へき地・小規模校及び複式形態の学校の特性を活かした教育活動の推進～

■別院ブロック研究主題

「主体的に学び、確かな学力と表現力の向上を図る」
～小中9年間の学びを通して～

■別院中学校研究主題

「主体的に学習に取り組み、確かな学力と表現力を持った生徒の育成」

【主な実践内容】

- ◆ わかる授業の実践（ユニバーサルデザインの視点）
- ◆ 授業の「めあて」「振り返り」の実践
- ◆ 言語活動を意識した深い学びのある授業の実践